

令和3年6月25日 総務文教委員会 議事録
11時35分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 西村 一啓

副委員長 山崎 年一

委員 小中 真樹雄、小田上 尚典、網谷 芳孝、児玉 朋也、寺岡 公章、
山本 孝三

議長 細川 雅子

○欠席委員 なし

○西村委員長 それでは、お待たせいたしました。定足数に達していますので、ただいまから総務文教委員会を開会させていただきます。

開会に当たりまして、市長に御挨拶をいただきたいと思います。

市長。

○入山市長 総務文教委員会開催ありがとうございます。よろしく御審議お願い申し上げます。

○西村委員長 議事に入る前に、改めて委員と執行部の皆さんにお願いを申し上げます。

委員会での質疑につきましては、会議規則第56条の規定では3回までとなっておりますので、御協力をお願いを申し上げますとともに、再質問の必要がないよう、簡明なる御答弁をあわせてお願い申し上げます。

答弁をされる場合は、委員長が職名を指名いたします。職名の指名がなかった場合は、課名と職名を名乗ってから御答弁をいただきたいと思います。

発言される際には、マイクのスイッチを入れ、マイクに近づいて発言をしていただきたいと思います。

それでは、議事日程にしたがいまして進めさせていただきます。

日程第1、議案第46号令和3年度大竹市一般会計補正予算(第3号)を議題といたします。

本件につきましては、本会議場で提案理由の説明がございましたが、執行部において、補足説明があればお願いいたします。

中村部長。

○中村総務部長 補足説明は特にございませんので、よろしく願いいたします。

○西村委員長 補足説明はないということですので、議事に入りたいと思います。

新型コロナウイルスワクチンの接種については、先ほど議員全員協議会で報告を受け、質疑を行いました。今回の議案第46号に関しては、議案の内容に関することに対するの質疑にさせていただくよう、お願いをいたします。

これより、本件に対する質疑に入ります。

質疑はございませんか。

小中委員。

○**小中委員** 補正予算の中に、生理用品の配付というようなことが説明がありましたが、生理用品の配付方法というのはどのように想定されておられるのかを教えてください。

1つお願いとして、非常にデリケートな問題なので、風評被害とか、変な差別感情とかが生じないように十全な配慮をお願いしたいと思います。

以上で質問を終わります。

○**西村委員長** どうぞ。

○**藤本福祉課課長補佐兼保護係長** 保護係長、藤本です。ただいまの生理用品の配付方法についての御質問についてお答えいたします。

現在、他市町での配付状況等を確認させていただきまして、窓口でのパンフレット等の指さしによる配付、これをくださいと言わなくても、配付できるような状況を今のところ考えております。

ただ、パンフレットの内容、表示方法とかにつきましてはまだ検討中ではございますが、そういった風評被害等を招くことのないような配付方法で進めていきたいと思っております。

以上です。

○**西村委員長** よろしいですか。

他に質疑はございませんか。

小田上委員。

○**小田上委員** すみません、小中委員からありましたところと同じなんですけど、生理用品、12万4,000円なんですけど、わざわざ財政調整基金を切り崩してやると、想定されている個数となぜやるのかっていうところをまず教えてください。

○**西村委員長** はい、どうぞ。

○**藤本福祉課課長補佐兼保護係長** 今の想定している個数、こちらのほうに関しましては、パック数でお答えさせていただくんですけども、パック数で昼用と夜用各200パックで計400パックの購入を予定しております。

以上です。

○**西村委員長** よろしいですか。

もう1個ある。

保護係長。

○**藤本福祉課課長補佐兼保護係長** ごめんなさい。実施する理由なんですけれども、今回、生理の貧困ということで、御存じのとおり話題にはなっております。従来が生活困窮者の支援ということで、国だったり県だったりでいろいろメニューのほうございますけれども、そちらのほうでカバーできていない部分というのが今回、顕在化しているということで、市のほうでも取り組まざるを得ないということでの、生理の困窮に対する支援のほうを始めさせていただこうという考えからの事業実施になります。

以上です。

○**西村委員長** 小田上委員。

○小田上委員 ありがとうございます。これってコロナ禍を理由にということじゃないんですよね。コロナ禍で表に出てきたけど、前からあったよねということですよね。その認識でいいですか。はい。

個数とかはよくわからないんですけど、12万4,000円だったら毎年やればいいのになと思うんですけど、これからずっとやるつもりなんですか。

あと、小中委員が言われてましたけど、そもそも取りに行きにくい状況だというのは、学校教育というところまで言うのであればかもしれないですけど、当たり前のことですから、ただ、そこで何か恥ずかしい思いをすることによってという言い方すればいいんですかね。そういうことがないようになどというものは、広告の仕方というよりも教育の仕方なのかなとは思いますが、そのあたりどうお考えですか。

○西村委員長 藤本係長。

○藤本福祉課課長補佐兼保護係長 事業の継続ということなんですけれども、今回にしましては、10月の末日までの配付期間をめでに事業をしようと思っております。それで、その時点でどの程度の希望というか、配付状況があるか、その辺を考えまして、また、他市町村の状況とかも鑑みまして、事業のほうの継続につきましては、今後検討していきたいと思っております。

また、学校教育現場での配付ということなんですけれども、確かに児童・生徒の方々、そういった恥ずかしいというか、変な思いをすることのないような配付方法といたしまして、ほかの市町の状況を調べてみたところ、保健室で必要枚数を配付するという形を取っておられるところが多いようです。大竹市におきましても、そのような形で学校側との協力体制というのをお願いをしていかなければいけないかなと思っております。

以上です。

○西村委員長 小田上委員。

○小田上委員 ありがとうございます。どういうところを想定されているのかというのがすごく重要だと思うんですね。困窮者といっても本当に経済的な理由だけじゃないと思うんですね。ひとり親家庭で、例えばお父さんだけの家庭だと、娘さんは相談しづらいとかって、いろいろ見させてもらいました。ですので、本当、多種多様な事情あるかと思うんで、どういう方を想定しているかによるんですけど、それ考えると保護係だけではなくて、児童係だったり教育委員会だったりいろんなところと連携してもらわないといけないのかなと思いますので、そのあたりしっかり連携していただいて、有効であれば続けていただくようなところも検討していただけたらと思います。

答弁は結構です。終わります。

○西村委員長 他に質疑はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○西村委員長 質疑なしと認めます。

以上で、質疑を終結いたします。

続きまして、討論に入ります。

本件に関する討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 討論なしと認めます。

以上で、討論を終結いたします。

これより、本件を採決いたします。

本件は、原案のとおり可決すべきものと決して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西村委員長 御異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本日の議事日程は全て終了いたしましたので、総務文教委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

11時44分 閉会